【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-512011(P2007-512011A)
【公表日】平成19年5月17日(2007.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2007-018
【出願番号】特願2006-540410(P2006-540410)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/26　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/25　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/573　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/26
Ｃ１２Ｑ　1/25
Ｇ０１Ｎ　33/573　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月21日(2007.11.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
酸化窒素シンターゼ活性の測定方法であって、その方法が
(a) 酸化窒素の合成を可能にする条件下で酸化窒素シンターゼ及び好適な基質を含む溶液を用意し、
(b) cGMPの合成を可能にする条件下でグアニリルシクラーゼ及びGTPを添加し、
(c) cGMPを測定することを特徴とする測定方法。
【請求項２】
基質がアルギニンである、請求項１記載の方法。
【請求項３】
cGMPを検出することができる抗体によりcGMPを測定する、請求項１又は２記載の方法。
【請求項４】
酸化窒素シンターゼがi-NOS、e-NOS、及びn-NOSからなる群から選ばれる、請求項１、２又は３記載の方法。
【請求項５】
物質が酸化窒素シンターゼ活性のモジュレーターであるか否かを測定する方法であって、その方法が
(a) 酸化窒素の合成を可能にする条件下で酸化窒素シンターゼ及び好適な基質を含む第一溶液を用意し、
(b) 酸化窒素の合成を可能にする条件下で酸化窒素シンターゼ及び好適な基質を含む第二溶液を用意し、
(c) 試験すべき物質を第一溶液又は第二溶液に添加し、
(d) cGMPの合成を可能にする条件下でグアニリルシクラーゼ及びGTPを第一溶液及び第二溶液に添加し、
(e) 第一溶液及び第二溶液中のcGMPを測定し、
(f) 第一溶液及び第二溶液のcGMPレベルを比較し、酸化窒素シンターゼ活性のモジュレ

ーターをcGMPの異なるレベルにより同定することを特徴とする測定方法。
【請求項６】
モジュレーターが酸化窒素シンターゼ活性のインヒビターであり、インヒビターをcGMPの減少されたレベル（これは工程(c)で物質が添加された溶液中で測定し得る）により同定する、請求項５記載の方法。
【請求項７】
モジュレーターが酸化窒素シンターゼ活性のアクチベーターであり、アクチベーターをcGMPの高められたレベル（これは工程(c)で物質が添加された溶液中で測定し得る）により同定する、請求項５記載の方法。
【請求項８】
スーパーオキサイドジスムターゼをグアニリルシクラーゼ及びGTPと一緒に添加する、請求項１、５、６又は７記載の方法。
【請求項９】
請求項１、２、３、又は４記載の方法が行なわれることを特徴とする酸化窒素シンターゼ(NOS)活性をハイスループット(HTS)フォーマットで測定する方法。
【請求項１０】
少なくとも96のウェルを有するプレートを使用する、請求項９記載の方法。
【請求項１１】
384ウェルプレート又は1536ウェルプレートを使用する、請求項１０記載の方法。
【請求項１２】
チップを反応及び／又は読み取りプラットフォームとして使用する、請求項９記載の方法。
【請求項１３】
請求項５、６、又は７記載の方法が行なわれることを特徴とする物質が酸化窒素シンターゼ(NOS)活性のモジュレーターであるか否かをハイスループット(HTS)フォーマットで測定する方法。
【請求項１４】
少なくとも96のウェルを有するプレートを使用する、請求項１３記載の方法。
【請求項１５】
384ウェルプレート又は1536ウェルプレートを使用する、請求項１４記載の方法。
【請求項１６】
チップを反応及び／又は読み取りプラットフォームとして使用する、請求項１３記載の方法。
【請求項１７】
酸化窒素(NO)の検出方法であって、その方法が
(a) NOを含む溶液を用意し、
(b) 環状グアノシンモノホスフェート（cGMP）の合成を可能にする条件下でグアニリルシクラーゼ及びグアノシントリホスフェート(GTP)を添加し、
(c) cGMPを測定することを特徴とする検出方法。
【請求項１８】
請求項１７記載の方法が行なわれることを特徴とする酸化窒素(NO)をハイスループット(HTS)フォーマットで検出する方法。
【請求項１９】
少なくとも96のウェルを有するプレートを使用する、請求項１８記載の方法。
【請求項２０】
384ウェルプレート又は1536ウェルプレートを使用する、請求項１９記載の方法。
【請求項２１】
チップを反応及び／又は読み取りプラットフォームとして使用する、請求項１８記載の方法。
【請求項２２】

ハイスループットスクリーニングにおける請求項１、２、３、４、５、６、７、８、９、１０、１１、１２、１３、１４、１５、１６、１７、１８、１９、２０、又は２１記載の方法の使用。

【請求項２３】

(a) グアニリルシクラーゼ、

(b) GTP、及び

(c) cGMPを定量的に検出するためのシステム

を含むことを特徴とする、物質がNOS活性のモジュレーターであるか否かを測定するためのキット。

【請求項２４】

i-NOS、e-NOS、及びn-NOSからなる群から選ばれる酸化窒素シンターゼ(NOS)を更に含む、請求項２３記載のキット。

【請求項２５】

スーパーオキサイドジスムターゼを更に含む、請求項２３又は２４記載のキット。

【請求項２６】

(c)がcGMPに結合することができる抗体である、請求項２３、２４、又は２５記載のキット。

【請求項２７】

(a) グアニリルシクラーゼ、

(b) GTP、及び

(c) cGMPを定量的に検出するためのシステム

を含むことを特徴とする、酸化窒素シンターゼ(NOS)活性を測定するためのキット。

【請求項２８】

i-NOS、e-NOS、及びn-NOSからなる群から選ばれる酸化窒素シンターゼ(NOS)を更に含む、請求項２７記載のキット。

【請求項２９】

スーパーオキサイドジスムターゼを更に含む、請求項２７又は２８記載のキット。

【請求項３０】

(c)がcGMPに結合することができる抗体である、請求項２７、２８、又は２９記載のキット。

【請求項３１】

(a) グアニリルシクラーゼ、

(b) GTP、及び

(c) cGMPを定量的に検出するためのシステム

を含むことを特徴とする、酸化窒素(NO)の検出のためのキット。

【請求項３２】

スーパーオキサイドジスムターゼを更に含む、請求項３１記載のキット。

【請求項３３】

(c)がcGMPに結合することができる抗体である、請求項３１又は３２記載のキット。